

BBT大学

Ruby on Rails開発環境セットアップマニュアル

Mac版 1.1
最終更新日:2013/1/5

このマニュアルについて

- このドキュメントは BBT大学「ウェブサイトデザイン
応用」で利用するRails開発環境構築マニュアル
です。
 - このドキュメントはMac向けです。Windows向けドキュメントは別途ダウンロードできます。

- Ruby
 - プログラムの実行環境
- RubyGems
 - Rubyのライブラリ管理プログラム
- Ruby on Rails
 - Webアプリケーションフレームワーク



図:構成概念

Aptana(統合開発環境)のインストール

- Java
 - プログラムの実行環境
- Aptana
 - 統合開発環境
 - テキストエディタ
 - サーバ起動/停止
 - 本番環境への設置

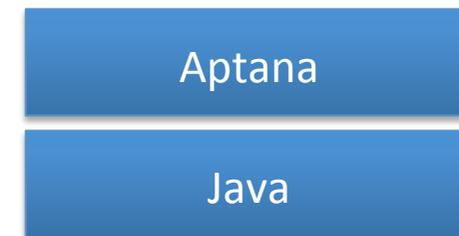


図:構成概念

- **必要なソフトウェアのインストール**
 - Xcodeのインストール
 - Command Line Toolsのインストール
- **Ruby on Railsのインストール**
- **Aptana(統合開発環境)のインストール**
 - Javaのインストール
 - Aptana Studio 3のインストール
 - Aptana Studio 3の起動
 - Railsプロジェクトの作成

必要なソフトウェアのインストール

Xcodeのインストール(1)

- まず、SpotlightなどからApp Storeを開き、右上の検索ボックスからXcodeを検索する



Xcodeのインストール(2)

- 検索結果のXcodeをクリックし、Xcodeのアプリ詳細画面を開く



Xcodeのインストール(3)

- 「無料」→「Appをインストール」をクリックしてインストールを進める
 - 「インストール済み」になればXcodeのインストールは完了



- 利用しているOSが古くて、インストール出来ない場合は、Developer Centerからダウンロード
 - <https://developer.apple.com/downloads/index.action>を開き、Apple IDを入力してログインする。

左上の検索ボックスに「xcode」と入力し、自分の使っているOSに対応するxcodeをダウンロードし、インストールする。

対応するバージョン一覧:

OS X v10.3 (Version 1.x),

OS X v10.4 (Version 2.x),

OS X v10.5 (Version 3.1),

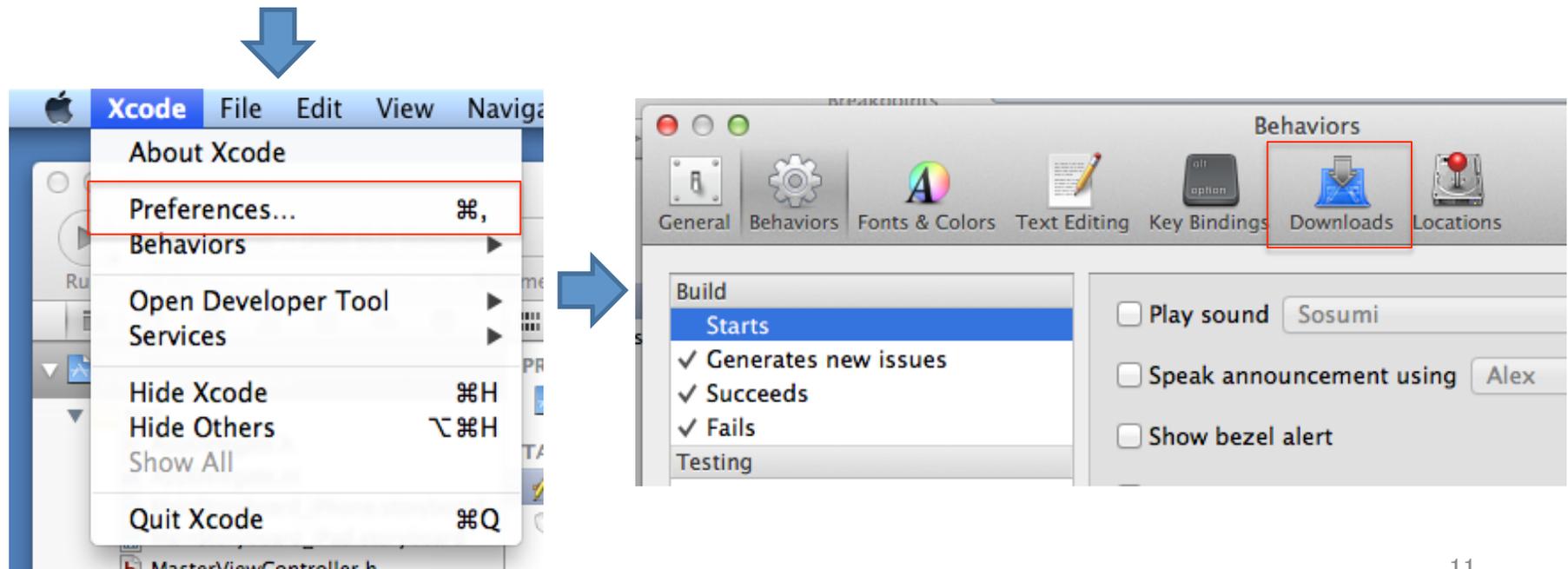
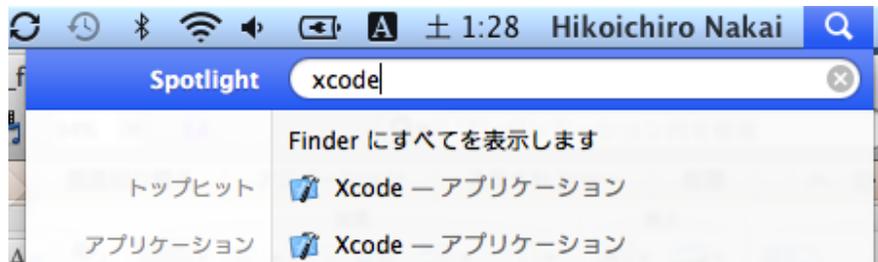
OS X v10.6 (Version 3.2),

OS X v10.7 (Version 4.x),

OS X v10.8 (Version 4.4)

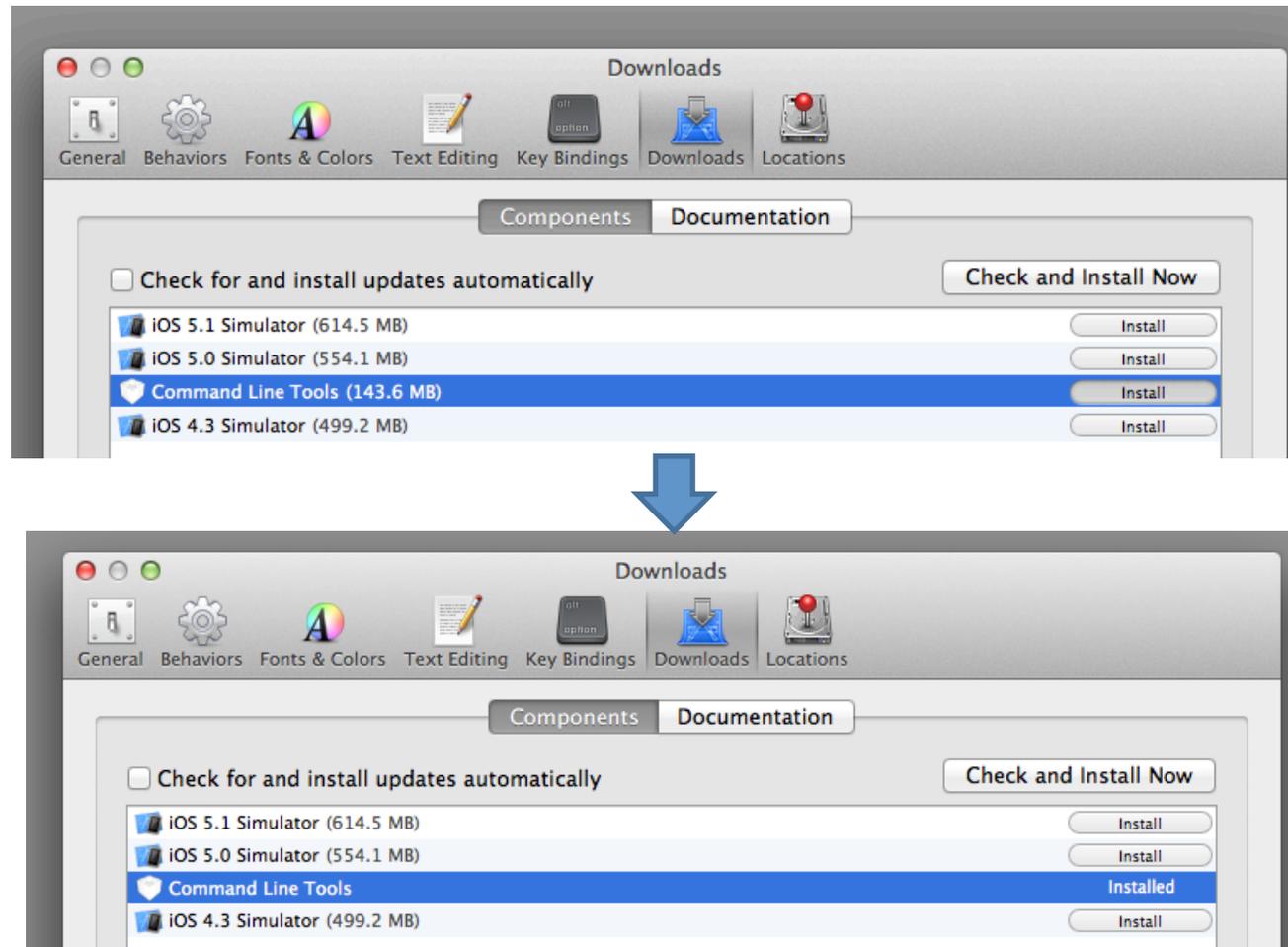
Command Line Toolsのインストール(1)

- インストールされたXcodeを開いて、Preferences...をクリック、次に Downloadsをクリックする



Command Line Toolsのインストール(2)

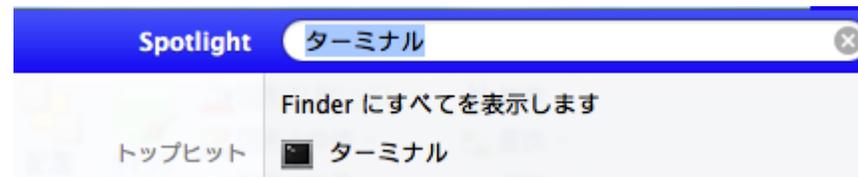
- “Command Line Tools”の行のInstallボタンをクリックし、Installedになるまで待つ



Rubyのインストール

Rubyのインストール

- Macには既にインストールされているので、念のためインストールされているかを確認する
 - ターミナルを起動する



- `ruby -v`とコマンドを入力し最後にEnterキーを押す
 - Rubyのバージョンが表示されればインストールされている

```
bash-3.2$ ruby -v
ruby 1.8.7 (2010-01-10 patchlevel 249) [universal-darwin11.0]
```

Railsのインストール

- Railsはすでにインストールされているが、バージョンが古い**ため最新バージョンへアップデートする**
 - 長時間かかるので電源やネットワークが切れない状態で行う
 - Gemというパッケージ管理システムを更新してからrailsのパッケージを更新する
 1. `sudo gem update --system`
 - 自分のログインパスワードを入力する
 2. `sudo gem update`

```
bash-3.2$ sudo gem update --system
Password:
bash-3.2$ sudo gem update
```

Railsのインストール確認

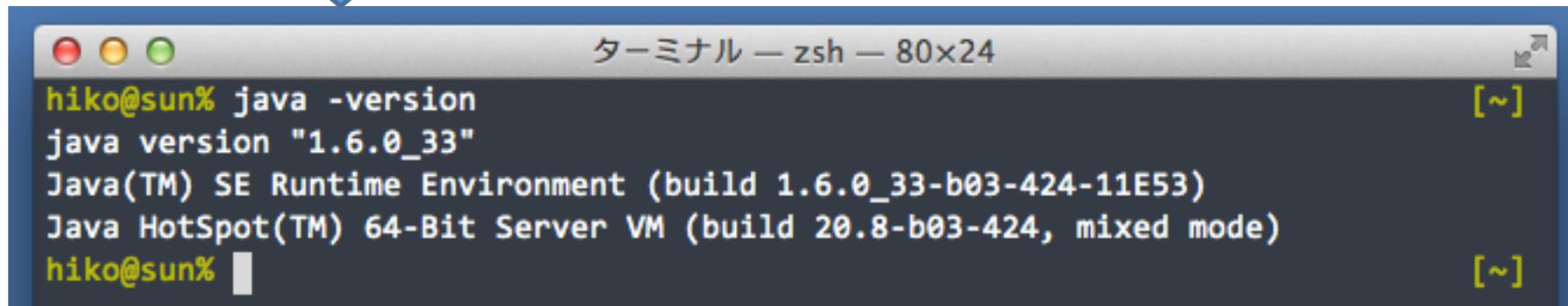
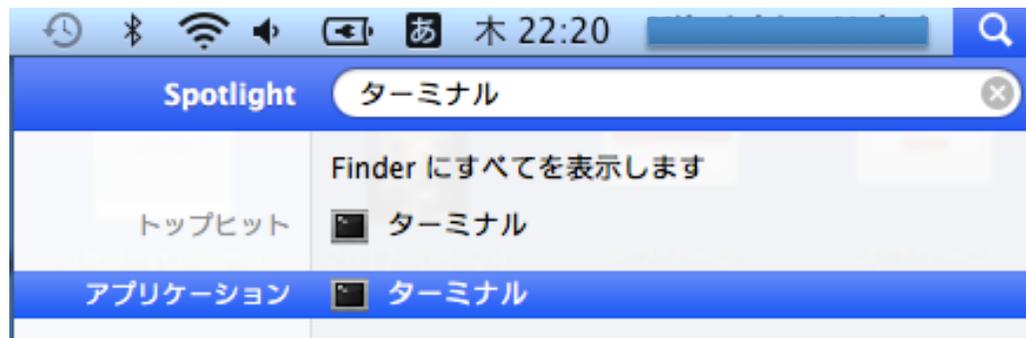
- 以下のコマンドを入力し、railsのバージョンが3.0.9以上になっているかを確認する
 - `gem list rails`

```
bash-3.2$ gem list rails  
  
*** LOCAL GEMS ***  
  
rails (3.0.9)
```

Aptana Studio 3のインストール

Javaの有無の確認

- Spotlightなどからターミナルを開いて以下のコマンドを実行し、バージョン情報が表示されJavaが利用できることを確認する
 - `java -version`



```
ターミナル — zsh — 80x24
hiko@sun% java -version [~]
java version "1.6.0_33"
Java(TM) SE Runtime Environment (build 1.6.0_33-b03-424-11E53)
Java HotSpot(TM) 64-Bit Server VM (build 20.8-b03-424, mixed mode)
hiko@sun% [~]
```

上記のように表示されなければJavaのインストールを続けて行う

- Javaがインストールされていなかった場合はブラウザ (Safari)で下記のURLを開く
 - <http://java.com/ja/download/>



The screenshot shows the Java website's download page for Mac OS X. At the top, there is a red navigation bar with the Java logo on the left, a search box with the text '検索' (Search), and links for 'Java in Action', 'ダウンロード' (Download), and 'ヘルプセンター' (Help Center). Below the navigation bar, on the left, is a sidebar with 'ヘルプ・リソース' (Help Resources) and a link to 'MacのFAQ' (Mac FAQ). The main content area features the heading 'Java for Mac OS Xのダウンロード' (Download Java for Mac OS X) in red, followed by the text '推奨 Version 7 Update 10 (ファイルサイズ: 50.0 MB)' (Recommended Version 7 Update 10 (File size: 50.0 MB)). A large red button with white text reads '同意して無料ダウンロードを開始' (Agree and start free download). Below the button, a paragraph states: 'Java をダウンロードすることで、エンドユーザーライセンス契約書 の条件を読み、承諾したものと見なされます。' (By downloading Java, you will read and agree to the terms of the End User License Agreement and be considered to have agreed to them.). At the bottom, a lightbulb icon is followed by the text: 'Javaのインストールが完了したら、お使いのブラウザでJavaを有効にするためにブラウザをリロード(Command+R)または終了 (Command+Q)することが必要な場合があります。' (After the Java installation is complete, you may need to reload the browser (Command+R) or quit (Command+Q) the browser to enable Java in your browser.).

- 「同意して無料ダウンロードを開始」ボタンをクリックすると、ダウンロードが開始されるためデスクトップなどの適当な場所へファイルを保存する

Java for Mac OS Xのダウンロード

推奨 Version 7 Update 10 (ファイルサイズ: 50.0 MB)

同意して無料ダウンロードを
開始

Java をダウンロードすることで、エンドユーザーライセンス契約書 の条件を読み、承諾したものと見なされます。



Javaのインストールが完了したら、お使いのブラウザでJavaを有効にするためにブラウザをリロード(Command+R)または終了(Command+Q)することが必要な場合があります。

Javaのインストール(3)

- ダウンロードしたファイルを実行してインストールを進める



※さらにアイコンをダブルクリックする

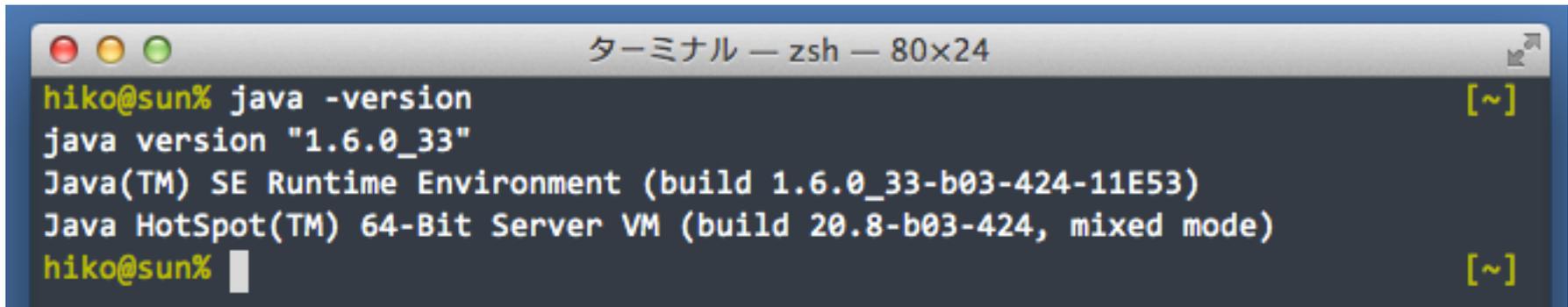
Javaのインストール(4)

- ダウンロードしたファイルを実行してインストールを進め、右側の画面が表示されればインストールは完了



Javaのインストール(5)

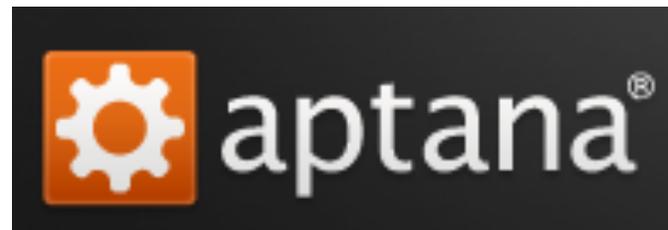
- はじめに”Javaの有無の確認”の手順で行った通り、ターミナルから以下のコマンドを実行し、バージョン情報が表示され、javaが利用できることを確認する
 - java -version



```
ターミナル — zsh — 80x24
hiko@sun% java -version [~]
java version "1.6.0_33"
Java(TM) SE Runtime Environment (build 1.6.0_33-b03-424-11E53)
Java HotSpot(TM) 64-Bit Server VM (build 20.8-b03-424, mixed mode)
hiko@sun% [~]
```

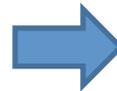
Aptana Studio 3のインストール

- ファイルの編集を行うためのエディタとして統合開発環境 (IDE) のAptana Studio 3をダウンロードする
 - <http://www.apтана.com/products/studio3/download>



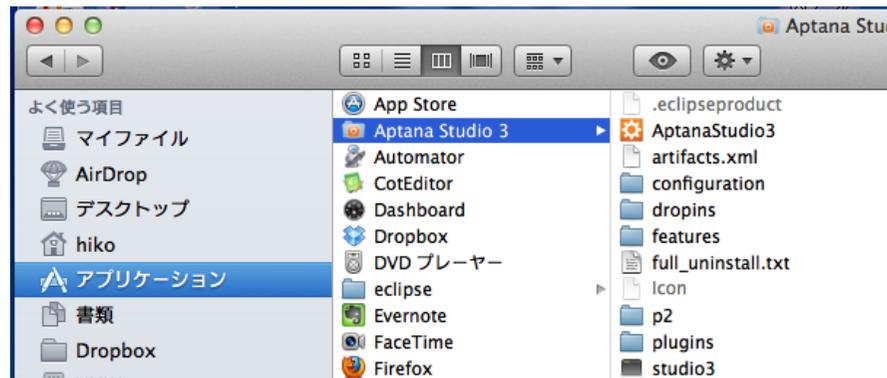
Aptana Studio 3のインストール

- ダウンロードしたファイルを解凍して開いてインストールする
 - アプリケーションフォルダへドラッグアンドドロップする



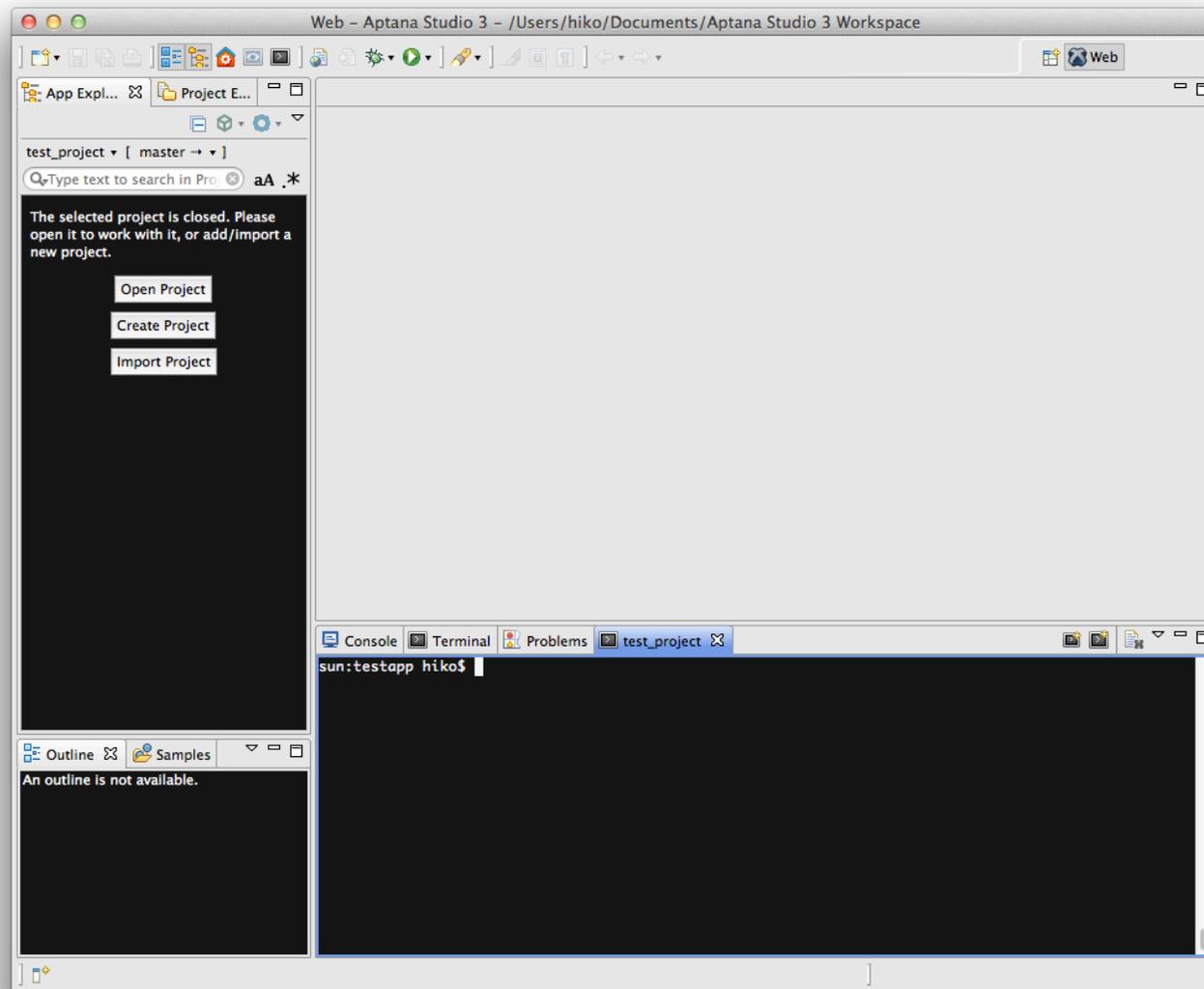
Aptana Studio 3の起動

- AptanaStudio3を起動する



Aptana Studio 3の起動

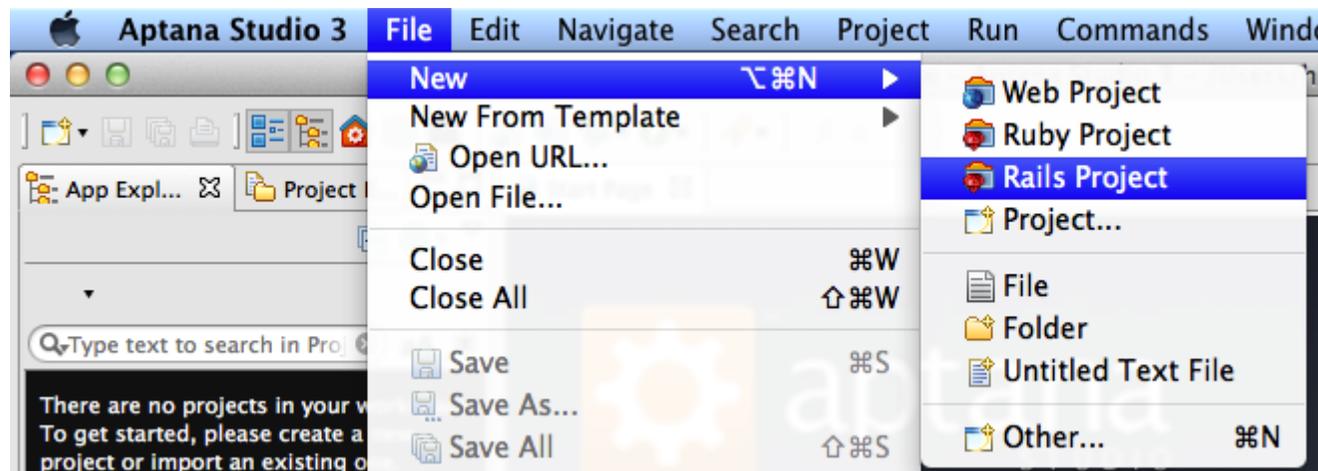
- 以下のようなウィンドウが表示される



Railsプロジェクトの作成

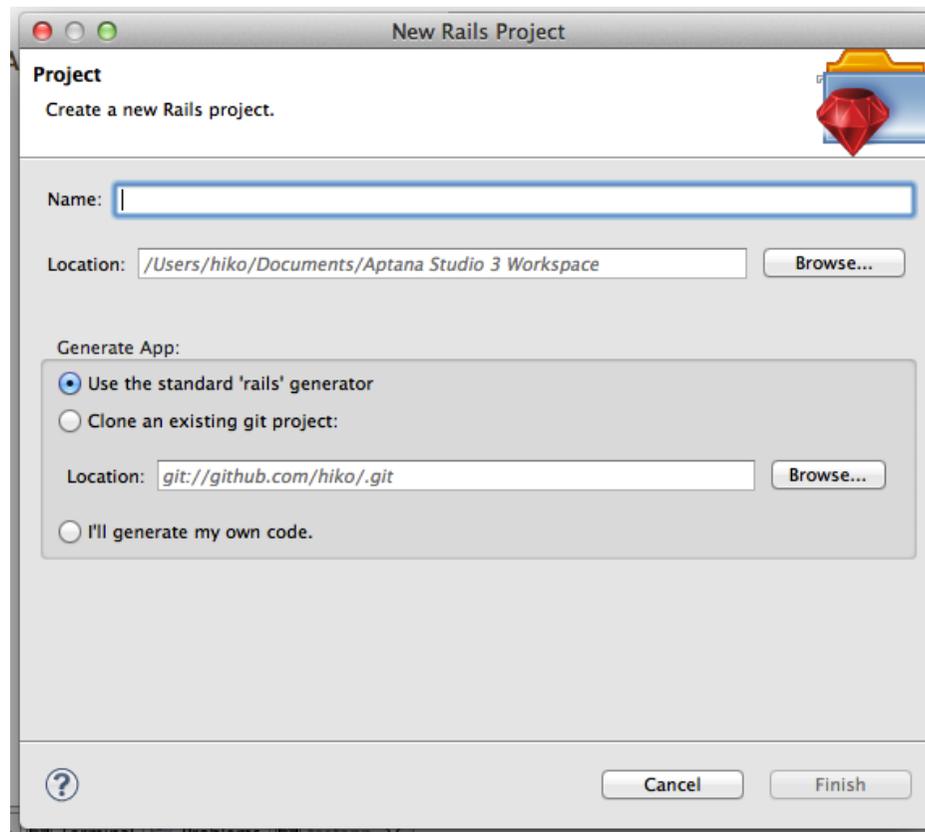
Railsプロジェクトの作成(1)

- File -> New -> Rails Projectを選択する



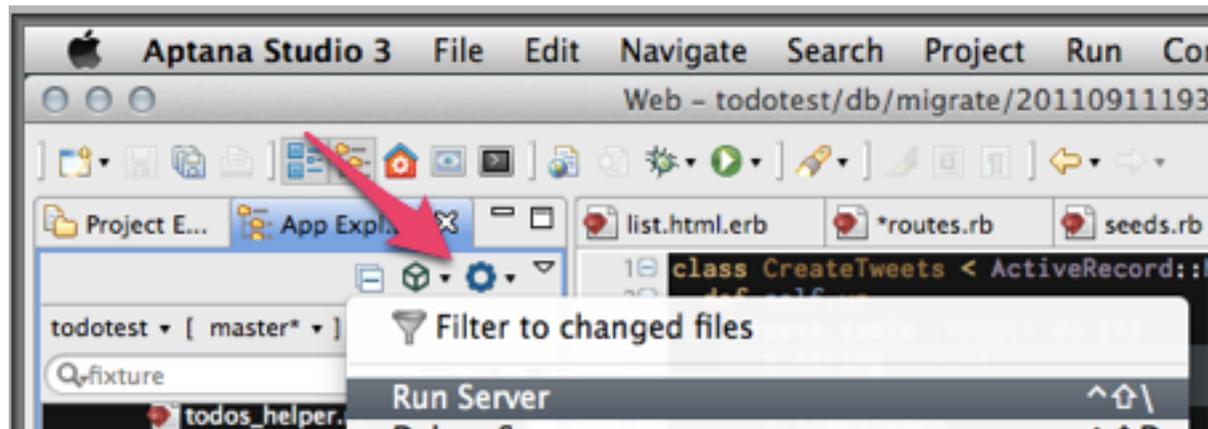
Railsプロジェクトの作成(2)

- Nameにプロジェクト名を入力し、Finishをクリックするとプロジェクトが作成される



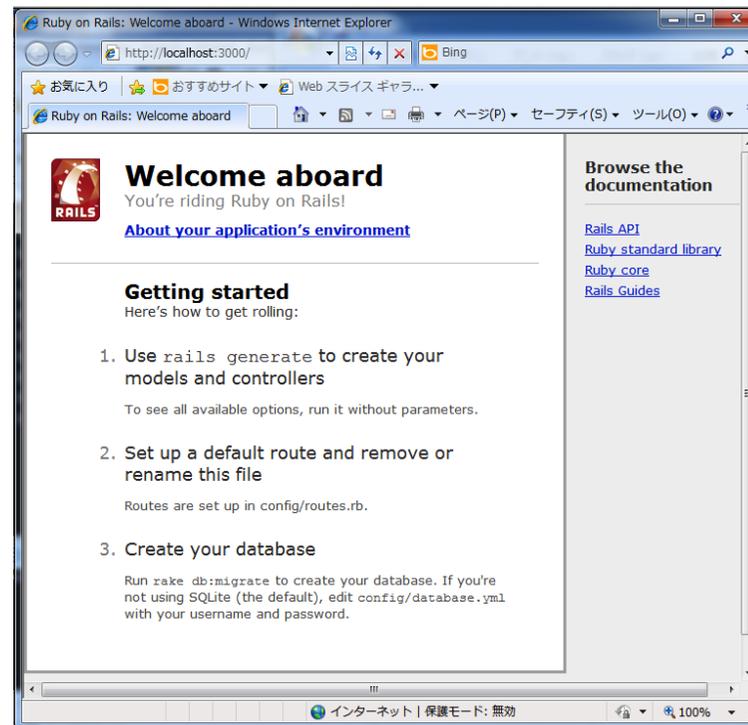
Railsプロジェクトの作成(3)

- App Explorerのギアの形をしたアイコンから、Run Serverを選択して、サーバを起動する



Railsプロジェクトの動作確認

- ブラウザで以下のURLにアクセスし、「Welcome aboard」と表示されるとRailsが正常に動作していることが確認でき、セットアップは完了。
 - <http://localhost:3000/>



Aptana Studio 3の終了

- メニューから終了する

